

全国堆肥センター協議会

平成16年12月17日

Eメール通信 30号

全国堆肥センター協議会

(財)畜産環境整備機構では、平成16年12月15日(水)に東京大手町のJ Aホールで平成16年度「畜産環境保全に関する技術開発成果発表会」を開催しました。

全国各地から310名の出席者があり、企業及び大学において平成15年度に終了した開発・研究の成果並びに平成14年度から都道府県等に委託して開発実証している簡易低コスト処理施設の成果について、口頭6題、ポスターセッション13題が発表されました。

技術開発課題は、家畜排せつ物法完全施行の影響もあり、ふん尿の効率的な処理(燃烧・炭化、簡易シート、低コスト汚水処理等)等に関する取り組みが多い傾向にありました。成績の詳細については、当機構の「畜産環境情報誌」やホームページに掲載を予定しています。

全国堆肥センター協議会で開催している「堆肥センター生産運営能力向上研修会」は今年、全国11ヵ所で開催中です(残り2月9日和歌山市)。

各会場とも概ね定員を越えて盛況のうちに終わっています。参加者構成をみると対象となる堆肥センター関係者の参加が今一つ少ないようです。今後万障繰り合わせて参加をお願いします。そのためには、事務局としてもタイムリーな演題や講師を選ぶことが先決と考えており、ご意見や講師の推薦等ありましたらご連絡下さい。

全国堆肥センター協議会総会を平成17年3月中旬に開催する予定です。併催するシンポジウムは、今年度は「堆肥生産流通実態調査」を実施しましたので 基調講演 調査の報告、 現地事例報告、 討論等を予定しています。畜産側からは売れる堆肥生産、耕種側からは使える堆肥の条件、流通がうまくいっている事例等発表や討論を行います。

総会出席者以外の出席も可能です。詳細については、後日、堆肥センター協議会から連絡いたします。

全国堆肥センター協議会事務局